

よかところ通信

2015年9月号

O2Farm【オーツーファーム】 大津耕太&愛梨
〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併 587
Tel&Fax : 0967-62-3730
E-mail: mail@o2farm.net
O2FarmWeb : www.o2farm.net

皆さま大変お待たせ致しました！平成27年産の新米です！！今年は夏～秋にかけて気温が上がらない日が多く、実るには実ったのですが、熟していなかったことから稲刈りを例年より1週間ほど遅らせました。就農して初めてのことで、自然相手なので仕方ありませんね。この度は発送の遅れをご了承いただきありがとうございました。



今か今かと待ち構えていた稲刈りが始まったのはシルバーウィークに入ってから。ゴールデンウィークは田植え、シルバーウィークは稲刈りなら、大型連休は兼業農家のためにつくられているのでは？と耕太。そんなわけではないと思いますが、小学生になってからめっきり農作業を手伝う時間が減ってしまった子供たちにとっては、久々の「リトルファーマーズ」活躍の場です。讃太郎などは、稲刈りの前日からワクワクして耕太の横で眠り、朝から飛び起きて長袖長ズボンの「稲刈りスタイル」で準備万端。ところが、稲刈りと言うのは朝露が乾いてからするものなので、朝7時から玄関前をウロウロしている讃太郎にとっては苦痛になるほどの待ち時間。ちょっと油断した隙に耕太が田んぼの見回りに出かけたものだから大変。「お父さんは？もう稲刈りに行った？」と血眼になって父親の姿を探し、自転車でお父さん探しの旅へ。見当たらない…と涙目で帰って来る始末。ようやく稲刈りが始まったころには眠くなりかけている讃太郎（笑）。晴天に恵まれて、気持ちの良い稲刈りだったようです。



そんな稲刈りの最中、ちょっと変わった出来事が。去年の秋から半年ほど、私の元で再生可能エネルギーのプロジェクトに取り組んでいた青年が、入籍したばかりの奥さんを連れて仙台からやって来て、結婚式の前撮りをしたのです。純白のウェディングドレスを着た彼女は妖精のよう。我が家の目の前にある天神さんをバックに、美男美女の2人が刈り取り直前の田んぼの中に立つと、本当にまばゆい限りです。婚姻届けの証人になった私たち夫婦とぜひ、ということで一緒に写してくれました。幸せいっぱいの2人から幸せのお裾分けを頂きました。

さて、青年と言えば、春から我が家で研修しているエースケ。今シーズンの稲刈りを無事に迎えられたのは彼のおかげと言っても過言ではありません。私が昨秋企画した「エネルギー兼業農家のススメ」という勉強会に参加したことがきっかけで、「食べ物もエネルギーもつくる農家になりたい」と我が家を訪ねてきたのが今年の1月。ニュージーランドで小水力発電の管理に、オーストラリアで農業に携わってきたとのことで、エネルギー兼業農家になる素養は十分です。まずは農業の勉強からということで、4月からO2Farmの一員として農業を始めました。体力もあって勘のいい彼は、仕事の呑み込みが早く、妊娠中で戦力外だった私の穴埋めにとどまらず、耕太の助さん角さん役として大活躍。トラクターやコンバインの操作にもすぐに慣れ、部品が壊れると溶接までしてくれる。本当に得難い人材が来てくれたおかげで、約5ヘクタール(サッカー場5個分位)の田んぼで無農薬のお米を作るといふ、ハードな任務をこなすことができました。





私エリは産後1か月を実母と義母のおかげでゆっくり過ごし、十分体を休ませることができました。が、母がいなくなった途端、家事と炊事と里咲(りさ)の世話であっという間に1日が過ぎてしまいます。あれ、今日何かしたっけ!?!という感じ。子供たちが夏休みの間に生まれた里咲は、常に誰かが抱っこしてくれていたの、すっかり抱き癖がついています。生まれてからの1ヵ月でなんと100人以上もの人が抱っこしてくれたので、なおさらです。新学期が始まってから日中は私しかないことが多く、なかなか大変ですが、授かった命のありがたみを感じながら、完全母乳で育てています。1か月で1キロ以上も体重が増え、プクプクしてきました。

稲刈りの後、乾燥&籾摺り(お米の皮を外すこと)をした新米が到着。早速精米をして、みなさんにお届けする前の試食。古米に比べて水分を多く含む新米は、水を若干控えめに炊くのがポイントです。炊いているうちから甘い匂いが広がります。神棚と仏壇にお供えしてからいよいよ口へ運ぶ緊張の瞬間。よし、甘い!親バカならぬ生産者バカかもしれませんが、しっかり熟すのを待った甲斐があったように思います。皆様も新米ならではの甘さを堪能して下さい。



新米を食べてモチベーションがさらに上がった子供たちは、まあ良く働く(笑)。農家の跡取りさんと話していて、「小さい頃に手伝わされたのが嫌で農業をしたくなくなった」という話を聞くことが少なくありません。だから「やりたい」と言った時には何でもやらせますが、「やりなさい」とは言わないようにしているのです。3人のリトルファーマーズは今のところ自発的に、そして楽しそうにやってくれているので、微笑ましいです。小学生になって、きちんとした戦力になってきました。写真は棚田の稲刈り。一部、水が湧いているところがあり、コンバイン

が入れないので、子供たちとエースケがせっせと鎌で刈ってくれました。今のところ収量は例年をやや下回りそうな感じですが、まだ全ての稲刈りが終わっていないのではっきりとは分かりません。それでも台風直撃されたり、阿蘇山の噴火があったりしながらも、無事に収穫できたことを喜ぶべきなのでしょう。

稲刈りシーズンは実りの喜びがあるので忙しくも楽しい時期。でも今年はあまりウキウキしていません。春先の通信でお伝えしていた田んぼの区画整理工事が、稲刈り直後に始まるからです。写真の左が整理工事後。右側の不揃いな田んぼが今年工事をするところです。シンボルのお宮さんがなくなるわけでも、田んぼがなくなるわけでもないので、気持ちの切り替えをしなければ、と自分に言い聞かせる毎日です。



全国ニュースで噴火の様子が報道されましたが、地元はいたって落ち着いております。噴火したその日でさえ、「ああ、今日は煙が多かね〜」というのんびりした会話が交わされていました。農産物への被害も今のところ特にありません。たくさんの方にご心配やお見舞いを頂きましたことを、この場を借りて御礼申し上げます。何はともあれ、今年のお米もどうぞよろしくお願いいたします!どうぞ皆さまお元気で。